

幼稚園・学校番号	1509413
施設名(園名等)	上ノ原幼稚園

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

年中4歳児

うさぎ組

担任(教諭名): 近藤 芳

1. 活動のテーマ

<テーマ> (タイトル)

お芋ほり ①「はじめてのおいもほり遠足」

テーマの設定理由

日頃から夏野菜などの栽培を通して、その生長に関心を高めている子どもの姿から、本テーマを設定した。旬の野菜に触れ、生長を知り、味わうことで、触覚や嗅覚だけでなく、味覚も働かせながら「食」としての自然に触れる体験をする。本体験を通し、植物としての自然の変化に心を動かすだけでなく、自分たちで収穫をする喜び、食を大切にしようとする心が育まれることを期待する。園内でサツマイモの生長に触れられる園庭環境を生かすとともに、さらに園外に「お芋ほり遠足」に出ることでより充実感を味わいながら興味関心を深める体験となることを目指す。

2. 活動スケジュール(活動の流れ)

- ・ 図鑑や絵本を用いて、植物、また食物としてのサツマイモについて知る。
- ・ 光が丘においもほり遠足に行く。
- ・ 各家庭でサツマイモを食べたり、重さを量ったりする。
- ・ 園でサツマイモをよく見て、絵を描く。
- ・ サツマイモを様々な形で切り、スタンプを楽しむ。
- ・ 遠足で掘ってきたさつまいもを遊びに使う。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

・ 活動のために準備した道具、環境の設定>

- ・ 絵本や図鑑
- ・ サツマイモスタンプ→遠足で収穫したサツマイモ・絵の具
- ・ 遊びに用いることを目的としたサツマイモ

・ 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や教諭との関わり 等を記載

- ・ 年中組に進級した当初から「おいもほり遠足」を楽しみにする様子がある。砂場では、芋掘りに見立てて、物を隠して掘ることを楽しんでいた。
- ・ サツマイモの絵本や図鑑、紙芝居を見ることによって、土の中で実がなっていることや、葉っぱの形がハートのような形である、ということを知ることができた。
- ・ 遠足当日は掘るとすぐにサツマイモが出てくるのではなく、たくさん掘っていくと、何個も繋がって出てくることに驚いている様子があった。「4個繋がっていた!」「わたしは7個」など驚きでいっぱい気持ちを友だちと共有していた。
- ・ 掘ってみて、サツマイモの大きさが大中小と様々あることに面白さを感じており、友だちと見比べることを楽しんでいた。合計130本とたくさんの掘ることができたことで達成感があった。
- ・ 遠足後は、家庭でサツマイモを食べ、「甘くておいしかった」といった感想や、どんな料理にして食べたかを子ども同士で合っている姿があった。また、年中・長で共有する時間を設けた。
- ・ 写生の活動では、サツマイモの色や、表面の穴を見ていた。また、おままごとなどを通して遊びに使うことも楽しんでいた。



おいもほり遠足



サツマイモを洗って遊びに使う様子



サツマイモの写生



スタンプの活動

4. 振り返り

<振り返りによって得た、教諭の気づき>

- ・おいもほり遠足に行ったことにより、サツマイモが連なってできていることに喜びを感じていた。普段、生活の中で見るサツマイモは、連っていないものばかりなので、子どもたちにとっても新鮮で、新しい知識となっていっていると感じた。
- ・写生の活動では、サツマイモの色や形、穴をよく見ている姿があった。「サツマイモは紫色」というイメージの子どもがいたが、よく見ると、「土がついている」「黄色っぽい」などよく気付いている姿があった。おいもほり遠足の経験をしたからこそ、子どもたちの興味がさらに深まっていっている様子がわかった。
- ・自分たちが掘ってきたということだけあって、美味しさも倍に感じていたように感じる。お家の人と一緒に食べたり、お弁当に入れてきたりして、食べることにとても喜びを感じていた。
- ・自分たちで掘った経験が、食べ物への興味関心や、食べ物に感謝する気持ちに繋がっていくと改めて強く感じた。